

## 夏合宿 奥秩父 甲武信ヶ岳（東沢釜ノ沢東俣）



皆で頂上にたてました

記録 金井

日 時 2020年 8月8日（夜）～10日

メンバー CL河本・SL金井・エミ・佐藤

### コースタイム

8月8日 葉山町 19:20～中央高速勝沼IC～笛吹川道の駅（幕）24:00

8月9日 村営駐車場 5:40～東沢～9:30 乙女沢～10:00 東のナメ沢～11:45 釜ノ沢出合  
～魚留ノ滝～千畳のナメ 13:30～ヤゲンの滝～16:20 広河原上部（野営）

8月10日 広河原上部 6:20～7:20 水師沢～ナメ滝～9:30 ポンプ小屋～甲武信小屋  
10:00～10:40 甲武信ヶ岳（2475m）～甲武信小屋 11:00～戸渡尾根 12:30～  
とくちゃん新道 13:38～15:10 村営西沢山荘～15:48 村営駐車場～中央高速勝  
沼IC～21:20 葉山町

28年ぶりに東沢入渓するが昔とどう変わっているのか楽しみであった。

CL河本を先頭に期待と不安を胸に皆笑顔で出発。吊橋を渡り東沢と西沢の分岐二俣を東沢へと河原に下る、少し歩き沢支度をして右・左と渡渉しながら河原を進み途中山腹をまいたり河原を歩いたりの繰り返しが続く。乙女沢に着き釜ノ沢迄もう少しと思ひ頑張。やっと釜ノ沢出合に着いた（アプローチが長い）これから楽しい遡行が始まる。最初の魚留ノ滝(10m)出だしがスラブで細かく難しい、頑張って登ると千畳のナメ(200m)の美しいナメが続き（一同歓声）暫く遡行するとヤゲンの滝(15m)右岸側にボルトが1本打ってあったが私達のパーティーではちょっと無理と思ひ右側の小尾根を巻く事にした。（巻きも悪い）ヤゲンの滝を超えると広河原と呼ばれるなだらかな広い河原を右側の樹林帯を歩いて行く（野営が沢山出来る良い場所である）広河原が一番狭くなった上部でよさそうな所があったので野営する事にした。CLが焚き火を越し食当のエミちゃんがイワナとベーコンに割箸を刺して焚き火で焼いて食べた。（最高に美味しかった）食事を終えて夏用シュラフに入り眠りについた。（ちょうど良くぐっすり眠れた）

4:15 起床した朝食を食べ準備をして出発。水師沢手前の2段20mナメ滝ザイルを出して登ると水師沢に出る、ここから沢幅も狭くなり傾斜も段々と急になりナメと小滝が続き尻らしくなってくる楽しい所だ、最後は少しガレ場を登り終了点のポンプ小屋に到着する。その後甲武信ヶ岳(2475m)登頂。無事に皆ここまで頑張ってきました。（握手を交わし）縦走路を駐車場めざして下山。

以下感想

金井

釜ノ沢は全体としては難しくはないが所どころ悪い所があり岩登りの経験がある人ではないと厳しいと思います。今回の沢合宿では良かった所悪かった所勉強になった所それぞれが感じたと思います。その経験を生かして成長してもらいたいと思います。とても充実した合宿でした。（感謝）

河本

今回の夏合宿を行うにあたって、地域山岳会としての山行のあり方について、例会を通し活発な議論がなされました。コロナ禍においても会員一人一人の山に対する情熱は冷めることなく、様々なアイデアを出し合いここに一つの結果を残すことができ、個人的には大変満足しております。マスク姿の記念撮影が後の笑い話になることを願いつつ、社会情勢を考慮し、今後も山岳活動を続けていけたらと思っております。参加者の皆さんお疲れ様でした。

エミ

東沢（釜ノ沢）いつか行ってみたいと思っていた沢でした。千畳のナメが素晴らしかったです。噂通りの美渓でした。一昨年のGW以来、また沢に戻ることができました。夏合宿メンバーの皆さん。お疲れ様でした。ありがとうございました。

佐藤

横須賀山岳会入会后、2回目の夏合宿。今年は新型コロナの影響で近場でとの事で、奥秩父の釜ノ沢東俣に、前夜発一泊二日で入る事になり、丹沢の沢しか知らない私は期待に胸を膨らませ出発しました。西沢溪谷入口バス停から入渓地点までの登山道は、私には神経をすりへらす場所が何箇所もあり、前途多難に思われました。しかし東沢に入り溪流シューズに履き替えると、そこからは美しいナメ滝を眺めながらの河原歩き。そしてさらに行くと千畳のナメと呼ばれている一枚岩のナメ歩きに感動！期待以上に美しいナメとスラブ歩きで、秩父の名渓を満喫する事が出来ました。初めての沢中ビバークで火起こしの大変さもわかりました。今回もたくさんの事を学ばせて頂き、本当にありがとうございました。この貴重な体験を次の山行に生かせる様にこれからも精進して参ります。



千畳のナメ



両門の滝



野営地（マスク姿）